



合い言葉

みんなが笑顔

## 人権の花運動 ~花づくりを通して相手を思いあう心を育てる~

1月23日(木)、5、6年生が「人権の花運動」に参加しました。

まず初めに、人権擁護委員の石井様より人権尊重社会の重要性についてご講話頂きました。その後に人権の花を植える作業に移りました。ひとつのプランターを2~3名で協力してパンジーの花を丁寧に心を込めて植えていきました。植え付けする活動を通して、相互理解や相手を敬う気持ちを再確認することができました。

最後に、人権課の三崎様から「人権」とは何か小学生でも理解しやすい易しい言葉で説明頂きました。

集合写真をそれぞれの学年で撮影した時、どの児童も、自分たちで植えた花を見ながら、今後の世話について意欲を高めることができました。



比地小学校の人権教育の取組は、全教育活動を通じて実施しています。人権教育で大切にしていることは、子どもたちの人権感覚を磨き、人権意識を高めることにあります。そのために教職員は、人権に関する研修・いじめ防止・虐待防止等の研修を行い、自らの人権感覚・人権意識を高めるようにしています。

学校だけでなく、大人すべてで子どもたちの人権を守り、人権を大切にするモデルとなる必要があります。ご家庭でもこの機会に、お子さんの人権を大切にしているか、大人がモデルになっているか、人権について考える機会にしてもらえればと思います。よろしくお願いいたします。